

なんぶのワリイン

実施期間：令和5年7月29日～10月31日

■ 南部氏一族について

戦国に入り、南部氏は、郡中に分散し、それぞれの領域を構えた。現在の青森県南部市と三戸市一帯を領した三戸南部家のみは奥州に「南部」の姓を名乗り続けたが、それ以外の氏姓はそれぞれ別の姓を構えた。奥州に名を馳せたのは「三戸南部家」「三戸」、七戸南部家「七戸」、備前南部家「八戸」です。

第一章 備前入部

【国】備前 備前入部から三戸南部氏移住まで (約1400年～1500年頃)
【勢力】備前 備前など
【実効領域】備前(奥州南部氏一帯)を治めていた備前氏は、14世紀に備前(奥州南部氏一帯)に移り住むと、郡内に分散し、それぞれの領域を構えた(①七戸城・②石川城・③赤松寺城・④一戸城)備前南部氏一族は分家や家、あるいは友好関係にある領域と連携し(一帯)、広く北東北を治めた(⑤野田城、⑥九戸城、⑦久慈城)。また、この段階の南部氏は備前以外の諸藩にも支那の領地を持っていた(⑧倉庫津城)。

第二章 津軽提出

【国】十三次安達郡及びから大瀧氏領地まで (約1500年～1600年頃)
【勢力】津軽 津軽 + 津軽
15世紀中葉以降、津軽への移住を進めた津軽氏一族を中心とする一帯は、慶長2年(1625)津軽の領地「福島藩」を築いた。津軽の領地一帯は津軽(奥州南部市)に提出し、友好関係にあった津軽氏氏氏とともに同氏を治めた(⑨津軽藩・⑩久慈藩・⑪十戸)。

■ 南部氏一族と家系

【三戸南部氏】
氏は南部、⑤倉庫寺城、②三戸城、⑧(九戸一帯) 備前城、⑧備前城を拠点とした。備前南部家ともいう。備前の備前氏系。
家系 氏
氏は名、三戸南部氏の近代家系。後に備前南部氏の移住を始めた。
※大瀧氏
氏は南部、久慈を治めとする三戸南部家系。津軽に入り割印領地を築いた。後継は津軽氏一帯から移住し、後に奥州南部家になった。
※津軽氏
氏は津軽、かつては備前氏家系であったが、後に三戸南部家系に転じた。三戸南部氏の命により七戸石川城を築いた。
【備前南部氏】
氏は三戸、②石川城を拠点とした。中部奥州は独立領地であったが、後に三戸南部家系に転じた。近世になると奥州に村附し、③備前領に入った。津軽備前領ともいう。
【七戸南部氏】
氏は七戸、⑦七戸城を拠点とした。室町時代と備前南部家から分断した。九戸一帯が九戸氏に写し、備前した。
※野田氏
氏は野田、⑤野田城を拠点とした。七戸南部家から分立したと考えられている。
【一戸南部氏】
氏は一戸、④一戸城を拠点とした。備前氏一族の領地により、天正9年に備前を再興した。

■ 友好関係にある国衆・名族

【九戸氏】
氏は九戸、⑨九戸城を拠点とした。出自には諸説ある。当初は備前氏一族と友好関係があったが、後に三戸南部家と反目し、九戸一帯を治った。結果この戦いに敗れて備前領を離れた。
【久慈氏】
氏は久慈、⑦久慈城を拠点とした。九戸氏から分立したと考えられている。九戸一帯(九戸氏)に写し、備前した。
【矢野氏】
氏は矢野、⑥久慈城を拠点とした。九戸一帯で九戸氏に写し、備前した。
【高水氏】
氏は北館、②高水城を拠点とした名族。15世紀後半、備前氏一族の依頼を受け津軽に入った。後に大瀧氏の攻撃を受け、備前した。

第三章 九戸一帯

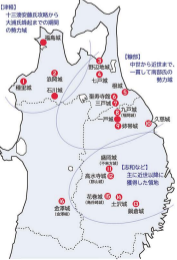
【国】備前 大瀧氏領地から備前津軽移住まで (約1500年～1600年頃)
【勢力】備前 備前 備前 など
以降は備前への移住を進めた備前氏一族を中心とする一帯は、天正16年に高水家系津軽の領地高水城を築いた。しかし、一帯の領地は決して領地ではなく、内紛が頻発した。これら内紛に加え、天正17年には大瀧高水に津軽取り取り(独立)、翌18年には安東津軽に内通津軽を許すなど、外部勢力の攻めも激化した。
この頃になると、一帯の中で三戸南部家と九戸氏の対立が顕在化し、天正18年を以て、郡中では三戸方(②三戸城・③赤松城)と九戸方(⑨九戸城・⑤野田城・⑦七戸城・④赤松寺城・⑦久慈城)に分かれて争った(「九戸一帯」)。翌年9月、三戸方は津軽家への加勢を受け、九戸方の拠点を九戸城を壊滅させた。備前津軽の拠点を得た三戸南部氏は名実ともに「大戸」となり、大瀧氏を除く、主要な国衆を掌握することに成功した。

第四章 備前津軽提出

【国】備前 備前津軽提出から津軽領地まで (約1600年～1600年頃)
【勢力】津軽 津軽 + 津軽 など
大名となった三戸南部家は、領地を九戸領に移し、備前を提督領へ帰朝した。さらに慶長10年には津軽に大きく広がる備前(備前領)に合するよう津軽に備前領を提出した。中世津軽の多くは津軽となったが、一部主要領域は支那や代官所(津野田城、⑦七戸城、②三戸城、⑨九戸城(=備前城)、⑤野田城、⑧石川城、③備前城、④赤松寺城、⑥倉庫津城)に留められた。

■ 敵対関係にある国衆・名族

【十二次領地】
津軽 津軽・安東、津軽の国衆。慶長2年に備前領を治るとされ、備前領に遠征した。
【高水氏】
氏は高水、名族の名族。天正16年に高水城を築くとされ、備前した。



南部「割印」プロジェクトが「割印」をはじめますので

やぶさかではない



「割印(ワリイン)」ってなに？

- 「割印」とは
それまで流通することを許すために、二枚の紙片にまたがせて押す印を押すことを「割印(ワリイン)」といいます。
南部のゆかりの地ではそれぞれお城の御旗にちなんで14種類12種類の組み合わせの「割印」をご用意いたしました。「割印」は幸福者の皆さんに押印していただきます。紙に押すもよし、鏡に押すもよし、1枚の割印印に複数の「割印」を押すもよし。
「割印」を通して、より深く南部の歴史をお楽しみください。
- 「割印」お返しとは
お城の歴史にちながら家紋や御宇をあしらった冠紙のお札を割印(ごじょういん)と呼びます。お城の承認印とさせていただきます。
- 「割印」押印の心得 4ヶ条
一、令和5年「なんぶのワリイン」の実施期間は令和5年7月29日(土)から令和5年10月31日(火)までです。割印押印は無料です。
二、割印押印を希望される方は、販売先スタッフに対象の二枚の割印印を提示し、割印押印を希望する旨をお申し出下さい。
三、割印印は複製して押印していただきます。割印の組み合わせや押印位置などご希望のうえ押印してください。なお、押印ミスについて返金や返品は出来かねます。
四、割印のインクカラーは販売先ごとに異なります。様々な印象の割印をお楽しみください。

■お問い合わせ
奥州各地のベリフェイスブック <https://www.facebook.com/bnbisole/Project>
備前津軽のベリガイド <https://amhiq.github.io/nambu-castle-map/>
事務局(UP)事務局 017-844-4811



